



令和2年度

横浜市立生麦小学校

# 学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 沼田 留美子  
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



霜月(11月)

## 力を出し切った運動会

副校長 川又 宏之

この秋は、多くの方が過ごしやすい20度前後の日が多く、『スポーツの秋』『読書の秋』と呼ぶのにふさわしい天気が続いています。この秋晴れの中、10月18日に運動会を実施することができました。9月中旬頃から少しずつ練習に取り組み身につけてきた演技は、どの学年も素晴らしい出来でした。閉会式でも話しましたが、改めてここで紹介します。

**1年生『1・2・3でスマイルゲットだぜ!』** 腕や脚を伸ばしたり縮めたりして、体全体で演技しました。小学校での初めての運動会でしたが、全員の動きを合わせることができました。

**2年生『レッツ ダンス ジャンボリー!』** 3種類から自分で選んだ用具を使って力いっぱい演技しました。ボールを高く放り上げてキャッチしたり縄やフープを素早く回したりできました。

**3年生『響け鳴子! 咲け花火! 輝け3年!』** リズムよく鳴子を鳴らし、動きも曲に合っていました。左右を向いたり体を傾けたりしながら鳴らす鳴子の音が見事に合いました。

**4年生『ヤングチルドレン! リズムにのって なわとびダンス!』** 縄を回しているときはタイミングよく跳び、跳ばないときは曲に合わせて縄を交差させ格好良いポーズをとりました。

**5年生『つなぐ! 想いを! 伝統を!! 生麦ソーラン 2020』** 腰をしっかりと落として綱を引く動きを表すなど、ソーラン節の力強さを表現しました。大漁旗を囲む隊形への移動も見事でした。

**6年生『自分へエール! みんなへエール!』** 静と動の違いをはっきりさせるとともに、全員の心を合わせて演技しました。フラッグを振った時に風を切る音が揃っていたのはさすがです。

このほかにも、学年ごとに競技と徒競走を実施しました。それぞれ自分の力を出し切っていました。応援団の児童は、毎日の休み時間に加え朝練を数回行い、息の合った動きと声出しができるようになりました。リレーの選手もスムーズなバトンパスができるように練習を積み重ねました。金管バンドクラブは9月に発足したばかりですが、開会式でファンファーレと校歌を響きのあふ音で演奏しました。5・6年生が担当した係では、少ない打ち合せ回数で動きを覚え、自分の役割を果たしました。どの子も、自分のもてる力を発揮することができた運動会でした。

今年度は、参観人数を制限したこともあり、地域の方には参観をご遠慮いただきました。子どもたちの頑張った様子を少しでも伝えたく、このたよりに書かせていただきました。

運動会とその練習を通して子どもたちが身につけた『努力を続けることの大切さ』や『友だちと協力したり心を合わせたりすることの大切さ』を学校生活に役立てていけるよう支援してまいります。今後も学校活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。